

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公表番号】特表2006-505873(P2006-505873A)

【公表日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-551903(P2004-551903)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 4 0 A

G 0 6 F 12/14 5 3 0 P

H 0 4 L 9/00 6 7 3 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月16日(2006.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データを処理するための方法において、

第1のエンティティに対応する複数の事前受信レコードを突き合わせて、一致レコードを形成するステップと、

複数のIDを有するレコードを受信するステップであって、前記レコードが第1のエンティティに対応するステップと、

暗号アルゴリズムを使用して前記レコード内の前記複数のIDのうちの少なくとも2つを処理し、処理レコードを形成するステップと、

前記処理レコードを、前記一致レコードを含む事前保管データと比較するステップと、

前記第1のエンティティが第2のエンティティであると判別された場合に、前記一致レコードと前記処理レコードを突き合わせるステップと、

を有する方法。

【請求項2】

前記レコードへのソースの割当ておよび識別のうちの一方を行うステップをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記一致レコードと前記処理レコードを突き合わせる前記ステップの後で、前記処理レコードの少なくとも一部分を暗号解読するステップをさらに有する、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記処理レコードの前記暗号解読された少なくとも一部分が前記ソースである、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記レコードにソルトを追加するステップをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

複数の受信レコードを受信するステップをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項 7】

前記暗号アルゴリズムを使用して前記レコードの少なくとも一部分を処理する前記ステップの前に、前記レコードを分析するステップをさらに有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記レコードを分析する前記ステップが、
ユーザ定義基準と、
2 次データベースおよびリストのうちの一方に含まれるデータ・セットと、
のうちの一方に照らし合わせて前記複数の ID のうちの少なくとも 1 つを比較するステップを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記レコードを拡張するステップをさらに有する、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記レコードを拡張する前記ステップが、ユーザ定義標準により前記複数の ID のうちの前記少なくとも 1 つをフォーマット設定するステップを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記レコードを拡張する前記ステップが、前記複数の ID のうちの前記少なくとも 1 つに対する変形を生成し、前記レコードとともに前記変形を組み込むステップを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記レコードを拡張する前記ステップが、
前記レコードに関する 2 次 ID について前記データ・セットに照会するステップと、
前記 2 次 ID で前記レコードを補足するステップと、
を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記レコードを標準化メッセージ・フォーマットに変換するステップをさらに有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記レコードを標準化メッセージ・フォーマットに変換する前記ステップが、前記複数の ID のそれぞれに符合するタイプ標識を使用するステップを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記暗号アルゴリズムを使用する前記ステップの後で前記タイプ標識が認識可能なものになる、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記一致レコードと前記処理レコードを突き合わせる前記ステップが、
前記複数の ID のうちの少なくとも 1 つを有する前記事前保管データを検索するステップと、

前記複数の ID のうちの前記少なくとも 1 つを有する前記事前保管データに含まれない他の ID が前記処理レコードに含まれるかどうかを評価するステップと、

前記他の ID に基づいて、前記処理レコードとの一致について前記複数の ID のうちの前記少なくとも 1 つを有する前記事前保管データを分析するステップと、
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記処理レコードを突き合わせる前記ステップが、前記他の ID を有する 2 次事前保管データを検索し、複数の ID のうちの前記少なくとも 1 つを有する前記事前保管データとともに前記 2 次事前保管データを組み込むステップをさらに有する、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記一致レコードと前記処理レコードを突き合わせる前記ステップが、永続キーを前記一致レコードおよび前記処理レコードに割り当てるステップを含む、請求項 1 に記載の方

法。

【請求項 19】

ユーザ定義ルールに基づいてメッセージを発行するステップをさらに有する、請求項2に記載の方法。

【請求項 20】

前記メッセージが、前記レコードの前記ソースと、前記事前保管データの少なくとも1つのソースのうちの一方を含む、請求項19に記載の方法。

【請求項 21】

ユーザ定義ルールに基づいてメッセージを発行する前記ステップが、ユーザ定義間隔でメッセージを発行するステップを含む、請求項19に記載の方法。

【請求項 22】

前記処理レコードをデータベースに保管するステップをさらに有する、請求項1に記載の方法。

【請求項 23】

データを処理するための方法において、

複数のIDを有するレコードを受信するステップであって、前記レコードがあるエンティティに対応するステップと、

暗号アルゴリズムを使用して前記レコード内の前記複数のIDのうちの少なくとも2つを処理し、処理レコードを形成するステップと、

前記処理レコードを事前保管データと比較するステップと、

前記複数のIDに基づいて、前記エンティティを反映すると判別された前記事前保管データと前記処理レコードを突き合わせることにより、一致データを判別するステップと、

前記複数のIDに基づいて、前記エンティティを反映すると判別された前記事前保管データに含まれない他のIDが前記処理レコードに含まれるかどうかを分析するステップと、

前記他のIDに基づいて、前記エンティティを反映すると判別された前記事前保管データと前記一致データを突き合わせるステップと、
を有する方法。

【請求項 24】

データを処理するための方法において、

複数のIDを有するレコードを受信するステップであって、前記レコードがあるエンティティに対応するステップと、

暗号アルゴリズムを使用して前記レコード内の前記複数のIDのうちの少なくとも2つを処理し、処理レコードを形成するステップと、

前記処理レコードを事前保管データと比較するステップと、

前記エンティティとの関係を反映すると判別された前記事前保管データに前記処理レコードを関連付けるステップと、
を有する方法。

【請求項 25】

データを処理するための方法において、

複数のIDを有するレコードを受信するステップであって、前記レコードがあるエンティティに符合し、前記複数のIDのうちの少なくとも1つが暗号アルゴリズムを使用して事前に処理されているステップと、

前記レコードを事前保管データと比較するステップであって、前記事前保管データの少なくとも一部分が前記暗号アルゴリズムを使用して事前に処理されているステップと、

前記エンティティを反映すると判別された前記事前保管データと前記レコードを突き合わせるステップと、

複数のメッセージのうちの少なくとも1つがノイズである、複数のメッセージを発行するステップと、
を有する方法。

【請求項 26】

データを処理するための方法において、

複数のIDを有するレコードを受信するステップであって、前記レコードがあるエンティティに符合し、前記複数のIDのうちの少なくとも1つが暗号アルゴリズムを使用して事前に処理されているステップと、

前記レコードを事前保管データと比較するステップであって、前記事前保管データの少なくとも一部分が前記暗号アルゴリズムを使用して事前に処理されているステップと、

前記エンティティとの関係を反映すると判別された前記事前保管データに前記レコードを関連付けるステップと、

複数のメッセージのうちの少なくとも1つがノイズである、複数のメッセージを発行するステップと、

を有する方法。

【請求項 27】

請求項1～26の何れかに記載の方法の各ステップをコンピュータに実行させる、コンピュータプログラム。